

ながはま健康づくり 0次クラブ会員で「季節性インフルエンザワクチン接種後の免疫応答に関する網羅的オミックス解析」研究にご参加いただいた皆さまへ

京都大学大学院医学研究科附属ゲノム医学センター

当施設では当大学の倫理委員会の審査を受けて大学長の許可を受けている以下の医学研究を実施しており、遺伝子データ解析の対象被検者としてながはま健康づくり 0次クラブ会員で「季節性インフルエンザワクチン接種後の免疫応答に関する網羅的オミックス解析」研究にご参加いただいた方の遺伝子データ（ゲノムデータ）を使用しています。

対象者に該当する可能性のある方で遺伝子データ（ゲノムデータ）を下記の研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は下記の連絡先にお問い合わせ下さい。

また、ご自身の遺伝子データ（ゲノムデータ）が本研究で使用されるかどうかについて確認されたい場合や本研究に関する資料の閲覧をご希望の場合も下記の連絡先にお問い合わせ下さい。

研究の名称（研究番号）	HTLV-1 関連脊髄症（HAM）の統合オミックス解析（G0719）
研究の目的	● 本研究ではゲノム、メタボローム等のヒト生態情報を統合したオミックス解析から、HTLV-1 関連脊髄症（HAM）の発症と病勢を規定する因子を見いだすことを目的とする。
当大学研究責任者	● 大学院医学研究科附属ゲノム医学センター教授 松田文彦
共同研究機関及び各機関の研究責任者	● 聖マリアンナ医科大学教授 山野嘉久
研究期間	2025年3月31日まで（予定）
利用する試料・情報の項目	DNA 検体を解析して得られた全ゲノム情報
試料・情報の利用目的・方法	HTLV-1 関連脊髄症（HAM）を発症している被検者のゲノム情報と発症していない健常者（「季節性インフルエンザワクチン接種後の免疫応答に関する網羅的オミックス解析」研究参加者）のゲノム情報を比較解析することにより疾患の発症や病勢に関連する可能性のある遺伝子変異を特定する。
他の研究機関への試料・情報の提供	本研究から「季節性インフルエンザワクチン接種後の免疫応答に関する網羅的オミックス解析」研究参加者の試料・情報を提供する予定なし。
試料・情報管理責任者	● 大学院医学研究科附属ゲノム医学センター教授 松田文彦 ● 共同研究機関については上記の機関の研究責任者
問い合わせ・苦情等の連絡窓口（右記のいずれかにご連絡ください）	● 京都大学大学院医学研究科附属ゲノム医学センター教授 松田文彦 電話：075-751-4157 ● 京都大学医学部附属病院 相談支援センター 電話：075-751-4748 E-Mail：ctsodan@kuhp.kyoto-u.ac.jp